

令和 7 年 3 月市議会定例会

防災危機管理部

議案説明資料

(当初予算分)

目 次

【予算案件】

1	令和 7 年度防災危機管理部所管予算（案）総括表	1 頁
2	自主防災組織育成事業について	2 頁
3	防災拠点機能充実強化事業について	3 頁
4	要配慮者対応資機材整備事業について（新規）	4 頁
5	避難所解錠設備整備事業について（新規）	5 頁
6	安全なまちづくり推進事業について	6 頁
7	犯罪被害者等支援事業について	7 頁
8	交通安全啓発事業について	8 頁

1 令和7年度 防災危機管理部所管予算（案）総括表

【一般会計】

（単位：千円、％）

区分 予算科目(款・項)	令和7年度 当初予算（案） A	令和6年度 当初予算 B	対前年度比較	
			増減額 A－B	増減率 A／B
防災危機管理部 合計	493,951	466,421	27,530	105.9
(款2)総務費	493,951	466,421	27,530	105.9
(項1)総務管理費	106,136	110,635	△ 4,499	95.9
(項6)防災費	387,815	355,786	32,029	109.0

【防災対策事業費】

2 自主防災組織育成事業について

[防災危機管理課]

(1) 予算額 11,895千円

財源内訳	県補助金	3,400千円
	一般財源	8,495千円

(2) 事業目的

地域の防災活動の中心となる自主防災組織の育成と組織の活性化を促進し、地域防災力の向上を図る。

(3) 事業内容

ア 自主防災組織活動事業補助金

・ 防災資機材整備補助金 限度額60万円

・ 防災訓練実施補助金

訓練1回につき1万円以内 年4回まで

イ 防災士養成研修事業負担金

・ 受講費用に対する負担金

ウ 防災研修・啓発業務委託

【防災対策事業費】

3 防災拠点機能充実強化事業について

[防災危機管理課]

(1) 予算額 42,939千円

財源内訳	一般財源	42,939千円
------	------	----------

(2) 事業目的

災害発生時に備え、備蓄食料や生活物資などを整備し、防災拠点の機能充実、強化を図る。

(3) 事業内容

ア 備蓄食料及び飲料水整備

・保存用ビスコ	11,460食
・保存用レトルトパン	5,000食
・保存用クラッカー	3,010食
・飲料水（2ℓ）	5,040本
・液体ミルク	192本

イ 避難所用生活物資整備

・毛布	1,280枚
・簡易トイレ	1,200組
・トイレ凝固剤（2個入）	10,000セット
・紙おむつ（大人用）	2,016枚
・紙おむつ（幼児用）	616枚
・生理用品	17,630枚
・トイレットペーパー	528ロール
・除菌シート（10枚入）	3,840パック

【防災対策事業費】

4 要配慮者対応資機材整備事業について（新規）

[防災危機管理課]

(1) 予算額 2, 0 0 0 千円

財源内訳	一般財源	2, 0 0 0 千円
------	------	-------------

(2) 事業目的

高齢者や障害者等いわゆる要配慮者が避難所等で生活するために必要な資機材を整備することにより、災害時の要配慮者対策の充実を図る。

(3) 事業内容

要配慮者対応資機材整備

- ・ 救急用品
- ・ デジタル血圧計
- ・ パルスオキシメーター

【防災対策事業費】

5 避難所解錠設備整備事業について（新規）

[防災危機管理課]

(1) 予算額 42,000千円

{	財源内訳	市債	42,000千円	}

(2) 事業目的

避難所が迅速に解錠されることによる安心感等市民感情への配慮や、避難所の鍵管理の負担軽減につなげるため、第1次避難所の解錠設備の整備を行うもの。

(3) 事業内容

全ての第1次避難所（78箇所）の入口に震度感知式・ダイヤル式キーボックスや防犯対策用のソーラー式センサーライト、避難所を示すサイン標識の設備を整備する。

【安全なまちづくり推進事業費】

6 安全なまちづくり推進事業について

[生活安全交通課]

(1) 予算額 34,735千円

財源内訳	一般財源	34,735千円
------	------	----------

(2) 事業目的

「富山市安全で安心なまちづくり推進条例」に基づき、安全で安心なまちづくりを市民等と協働で推進するため、自主防犯組織の活動や防犯協会等に支援を行うなど、犯罪の未然防止を図るもの。

(3) 事業内容

- ア 自主防犯組織の育成・支援 5,078千円
自主防犯組織に対し、結成時補助や活動費補助を行うほか、警察等と連携し、研修会を開催する。
- イ 防犯広報・啓発活動の実施 618千円
犯罪の未然防止に向けキャンペーン等を実施する。
- ウ 防犯関係団体等補助 14,090千円
市内の防犯協会の活動費補助、富山県防犯協会の活動支援を行う。
- エ ふるさとみまもり事業 7,100千円
警察OB等からなる「ふるさとみまもり隊」が、市内全域の防犯や防災等の点検パトロールを行い、地区センター等と連携し、危険箇所等の情報を連絡・交換する活動について支援を行う。
- オ 防犯カメラ設置補助事業 2,050千円
地域住民等が主体となった防犯活動を支援するため、町内会等が設置する防犯カメラの整備について支援を行う。
- カ 富山市安全で安心なまちづくり推進協議会の開催 282千円
- キ 公共的空間防犯カメラ設置等事業 5,517千円
通学路における子どもの安全確保等を目的として、犯罪の発生抑止に効果的と期待できる箇所に設置した防犯カメラを管理運用する。

【犯罪被害者等支援事業費】

7 犯罪被害者等支援事業について

[生活安全交通課]

(1) 予算額 1, 3 6 9 千円

財源内訳	一般財源	8 2 9 千円
	繰入金	5 4 0 千円

(2) 事業目的

犯罪行為により被害を受けた方やその家族のうち、大学等へ進学する方に対し富山市犯罪被害者等奨学資金を給付することで、希望する進路をあきらめることなく進学し、生計の礎となる資格取得等を目指してもらうことで、子どもの貧困を防ぐこと、及び人材の育成を図る。

また、富山市安全で安心なまちづくり推進条例第12条の規定に基づき、犯罪被害者等が本市において平穏な生活を営むことができるようにするため、関係機関及び関係団体との適切な役割分担のもと、犯罪被害者等が受けた被害による経済的負担の軽減を図る。

(3) 事業内容

ア 入学奨学資金及び学費奨学資金 5 4 0 千円
大学等の入学及び学費に係る経費等に対する奨学資金を給付する。

イ 遺族支援金及び重傷病者支援金 8 2 9 千円
犯罪被害者の遺族及び犯罪行為により重傷病を負った犯罪被害者に支給する。

【交通安全推進事業費】

8 交通安全啓発事業について

[生活安全交通課]

(1) 予算額 29,042千円

財源内訳	県補助金・委託金	692千円
	諸収入	74千円
	一般財源	28,276千円

(2) 事業目的

「交通事故の発生と事故による死傷者の根絶」を目指し、関係機関・団体等との連携のもと、交通安全市民大会等を通じて交通安全意識の向上と交通事故の減少を図るもの。

(3) 事業内容

ア 交通安全意識啓発事業 4,485千円
交通安全市民大会、ポスターコンクールの実施や交通安全アドバイザーの活動支援等を行う。
また、新たに自転車乗車用ヘルメットの着用促進のため、広報車用啓発音源を作成する。

イ 交通安全教室事業 15,961千円
幼児及び小学生、高齢者を対象とした交通安全教室や、参加・体験・実践型交通安全教室として薄暮教室、サポートカー体験教室を開催する。
また、中学生に自転車交通安全啓発物品を配布し、ルール遵守及びマナー向上を図る。

ウ 交通安全指導推進体制整備事業 7,569千円
交通安全母の会、交通安全協会、幼児交通安全クラブの活動を支援する。

エ 高齢者安全運転支援装置設置促進事業 1,027千円
65歳以上の高齢者が常時運転する自家用車に後付けで設置したペダル踏み間違い急発進等抑制装置について補助を行う。